

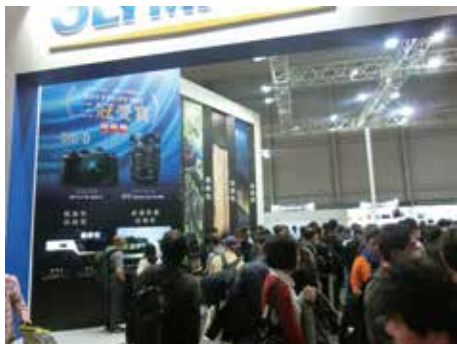
CP+ 2018 Report



初日の13時から会議センターでキーノートスピーチが開かれた。



レンズ交換式カメラ部門でワールドプレミアアワードでグランプリに輝いたソニーブース「α7 III」



オリンパスのブース



ニコンブースでは交換レンズが並ぶ



パシフィコ横浜、会議センター303、304の会場でプロ向け動画エリア隣の会場では動画セミナーが開かれた。

「CP + (シーピープラス) 2018」は、パシフィコ横浜を中心にした会場で、3月1日(木)から4日(日)の4日間、開催された。主催者の発表によると会期中の来場者は68,111人ということであった。

またワールドプレミアアワードの結果を報告する。

■レンズ交換式カメラ部門

ソニーイメージングプロダクツ&ソ

リューションズ株式会社/ソニーマーケティング株式会社

α7 III

■交換レンズ部門

株式会社シグマ

SIGMA 105mm F1.4 DG HSM | Art

■フォトアクセサリ部門

キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社

SPEEDLITE 470EX-AI

※レンズ一体型カメラ部門は該当製品なし
また、「CP + 2019」は、2019年2月28日(木)～3月3日(日)を予定していると発表された。

このReportではプロ向け動画エリアを中心にレポートする。

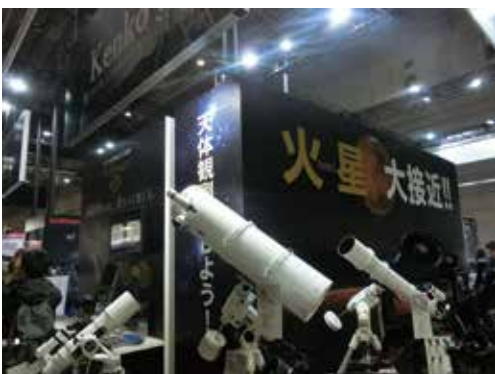


フジフィルムは、展示会場ではシネマレンズほか GFXなどを展示。プロ向け動画エリアでは、武蔵オプティカルシステムが展示をおこなった。



オーディオテクニカは、プロ向け動画エリアで、ハンディカメラやデジタル一眼カメラでの収録にワイヤレスの機動性をプラスした高音質 2.4GHz デジタルワイヤレスカメラマウントシステム専用レシーバーを展示。

スタジオエビスは、360度カメラをリモコンで動くミニ車両に搭載して展示。



ケンコープロフェッショナルイメージング：展示会場では、昨年末に取り扱いを開始したドイツ製購入交換レンズ「Meyer Optik Gorlitz (メイヤーオプティックゴルリッツ)」をはじめ、本革製の高級カメラバッグ「Oberwerth」、ギア付き雲台を充実させた「ARCA-SWISS」、ワイヤレスストロボで人気の「GODOX」、演色性の高いLEDライト「Aputure」などを展示した。

プロ動画エリアでは、シネマレンズの「Tokina-CINEMA」、「Veydra」、「XEEN」、撮影用照明の「DEDOLIGHT」、「LIGHT&MOTION」、電動スタビライザーの「GLIDECAM」、「Wenpod」、カメラ用/照明用バッテリーの「FXLION」などを展示。



パナソニックは、ローパスフィルターレス 20M Live MOS センサーを搭載し、「L. モノクローム D」 & 「粒状」で写真表現の幅が広がったデジタル一眼カメラ LUMIX DC-GX7MK3 を 3月 15 日より発売すると発表した。プロ向け動画エリアでもムービーカメラの展示をおこなった。

空撮課は、ドローン空撮をより気軽にとアピールしていた。



西華産業は、プロ向け動画エリアで REDDRAGON を展示



アマナビは、プロ向け動画エリアで、アマナドローンスクールのキャンペーンをした。



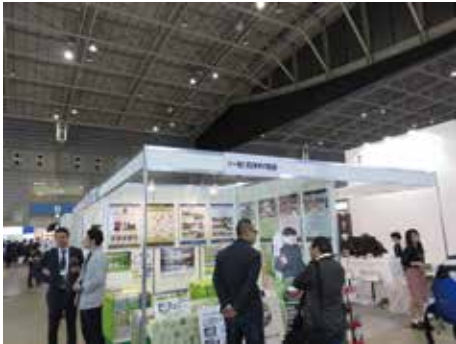
ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ/ソニーマーケティングは、35mm フルサイズ裏面照射型センサーを搭載した、レンズ交換式カメラ部門で、ワールドプレミアワードを受賞した「α 7 III」を展示した。プロ向け動画エリアでも交換レンズを展示。



ティアックは、プロ向け動画エリアにて、TASCAM(タスカム)ブランドのオーディオレコーダーを多数展示した。身につけられる、ピンマイクレコーダー DR10L/DR-10LW やショットガンマイク搭載カメラ用 AUDIO レコーダーを展示。



横浜美術館オープンギャラリーでは、初日にオープニングパーティーが開催された。



日本 RV 協会は、RV パーク開設の提案をした。(RV パークとは、日本 RV 協会公認の車中泊専用の有料駐車エリアのこと。)円形エリアでは、キャンピングカーとキッチンカーの展示をおこなった。



展示会場入口のポスター



展示会場では、興和、東芝、RICOHの展示があった。